

桑名市立小中学校再編計画 (原案) について

桑名市教育委員会事務局



本物力こそ桑名力

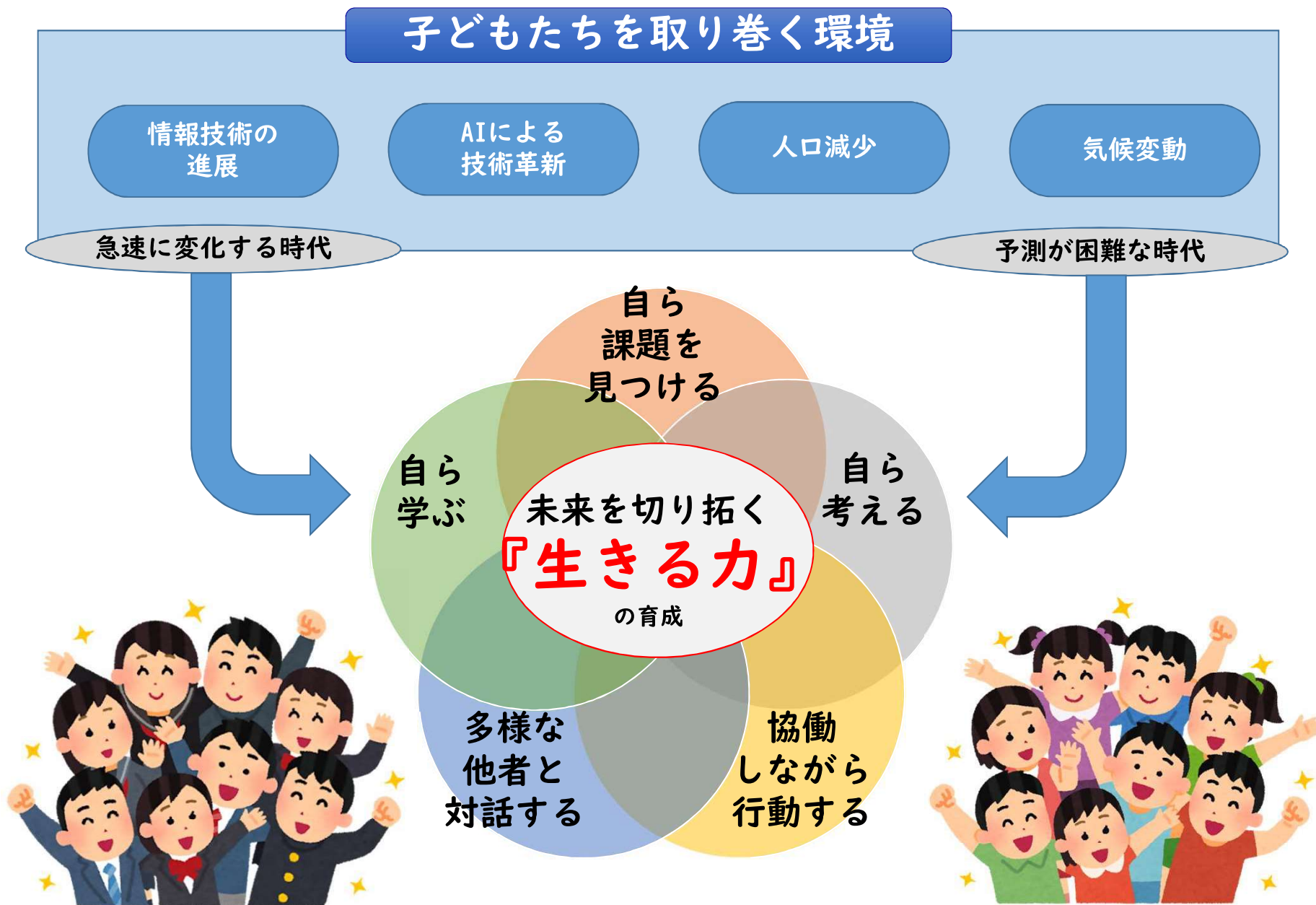
目 次



本物力こそ桑名力

1. 計画の背景・目的
2. 市立小・中学校の現状と課題
3. 学校再編の必要性
4. 再編計画の基本方針
5. 計画策定にあたり配慮すべき事項
6. 新しい学校配置案
 - 6-1 施設一体型小中一貫校整備候補地の検討
 - 6-2 新しい学校区割（小中一貫校区割）の検討
 - 6-3 小中一貫校の整備候補地・設置数・新学校区割（原案）

1. 計画の背景・目的



義務教育9年間を見通した
系統性・連続性のある教育環境づくり

⇒ 全市的に
小中一貫教育を展開

- ・ 一定の集団規模の確保
- ・ 多様な価値観に触れる
- ・ 多くの同世代と経験を重ねる

桑名市
の現状

児童・生徒数の減少による
学校の小規模化



学校施設の老朽化



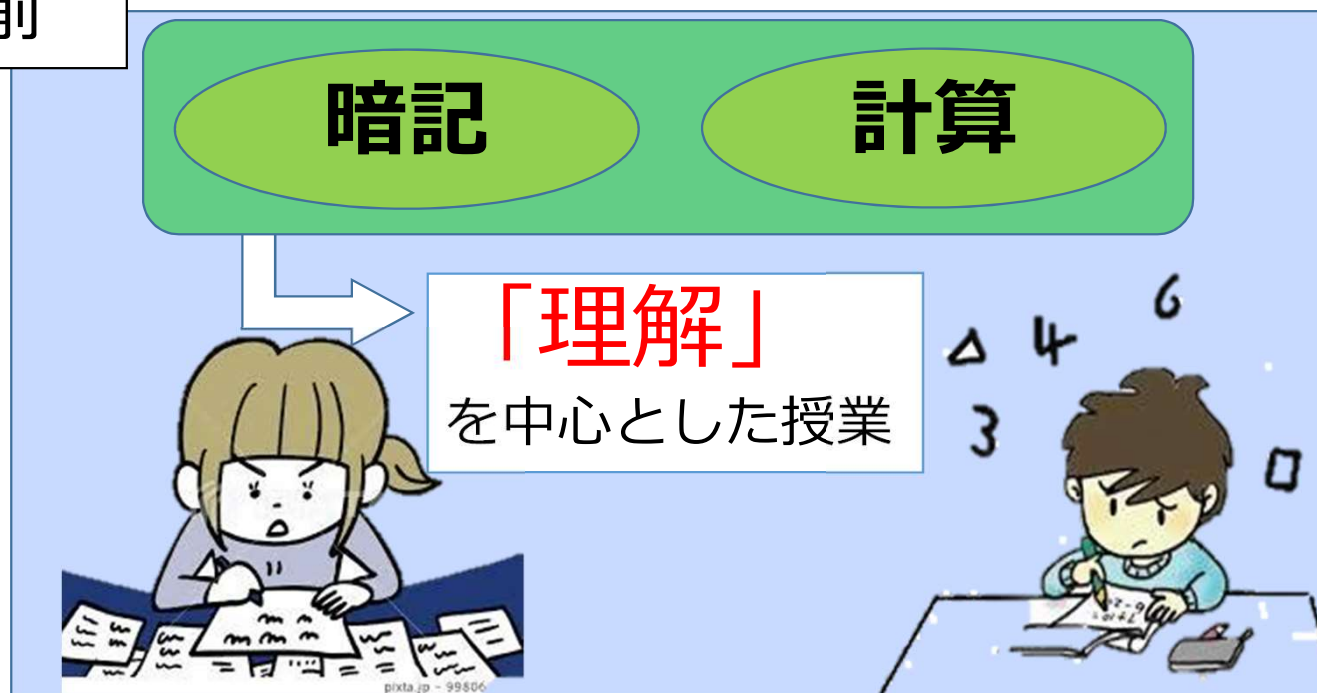
子どもたちにより良い教育環境を提供するために
小中学校再編計画の策定が必要

2. 市立小・中学校の現状と課題

教育の変化

これからの子どもたちを取り巻く「社会」は、近い将来でさえ「予測困難」な時代に..

以前



- ・ AI等技術革新
 - ・ 情報技術の進展
- など急速に社会が変化

2. 市立小・中学校の現状と課題

現在

未来を切り拓く **「生きる力」の育成**を中心とした授業

主体的・対話的で深い学び
「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視

覚えるだけでなく

実際の社会や生活で
生きて働く
知識・技能

学んだことを人生や
社会に活かそうとする
学びに向かう力
人間性

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力

考える力を！

多様な価値観に触れることが大切！
一定の集団規模の確保が必要！

こうした力を義務教育9年間を通してバランスよく育むことが求められています

成果を小学校から中学校へ確実に引き継ぐ

9年間の生き生きとした「学び」と「育ち」につないでいく
全市的な小中一貫教育の推進へシフト



2. 市立小・中学校の現状と課題

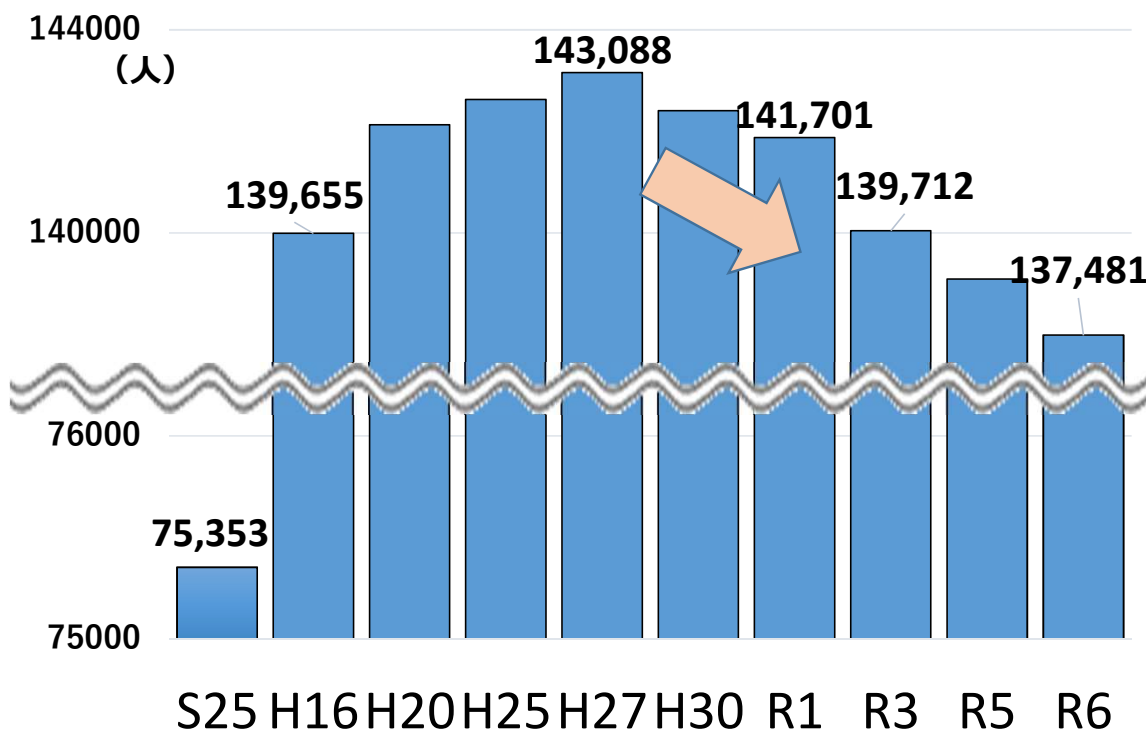


本物力こそ桑名力

市の人口推移

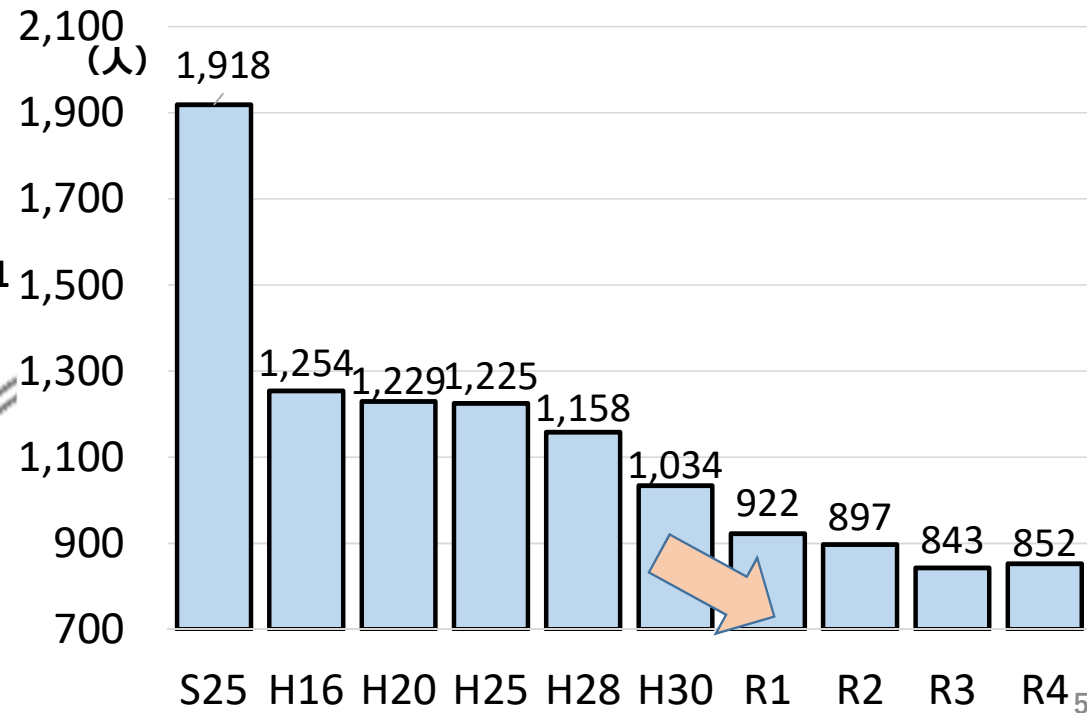
○総人口の推移

平成27年の14万3千人をピークに減少し、令和4年2月には14万人を下回る事態に。



○出生数の推移

平成28年まで1,200人前後で推移。令和元年に1,000人を下回り、近年はコロナの影響を受け、減少が継続している。



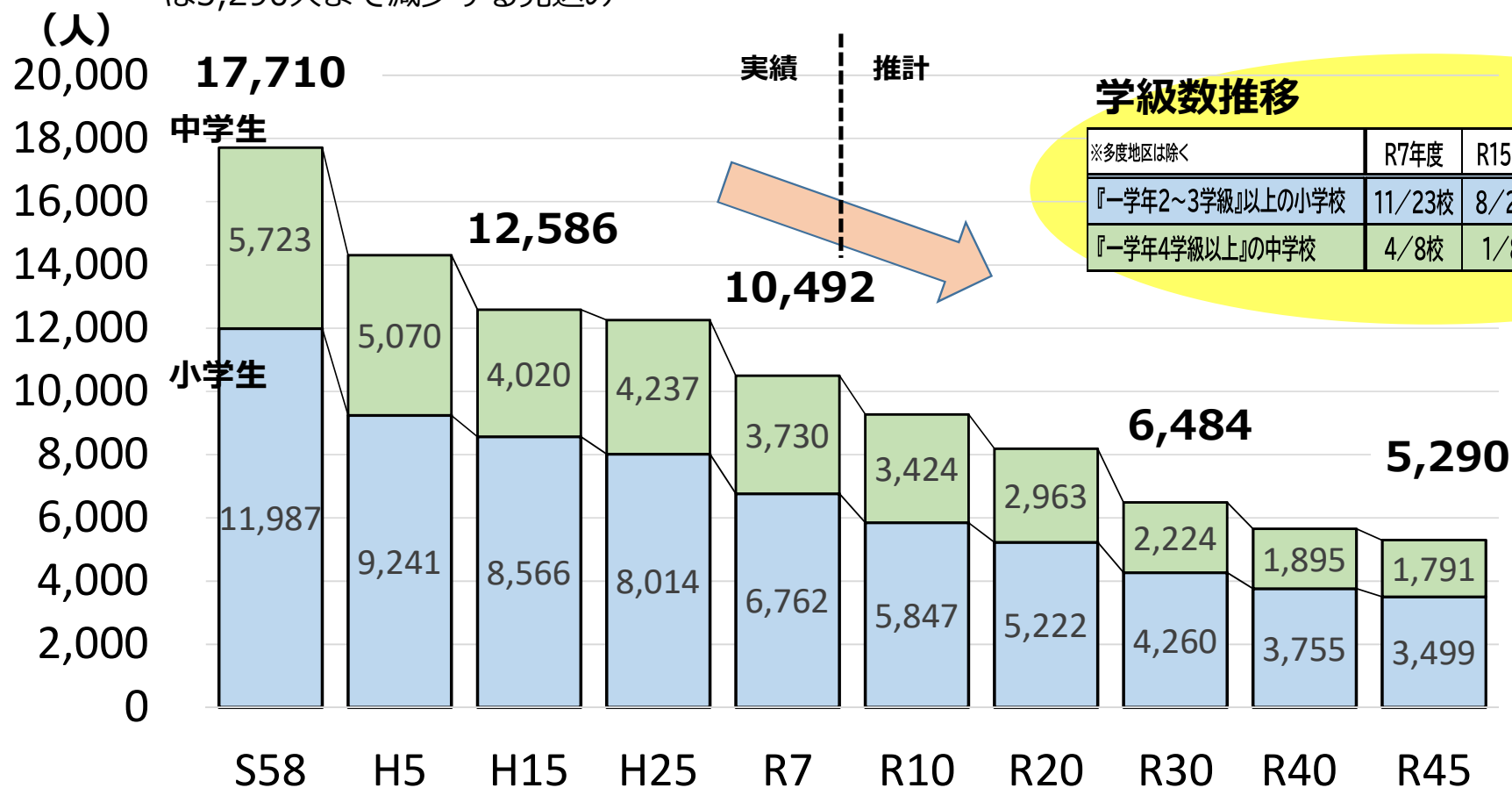
2. 市立小・中学校の現状と課題



本物力こそ桑名力

児童・生徒数の推移

児童生徒数は、昭和58年度17,710人をピークに令和7年には10,492人と7,218人減少し、令和45年には5,290人まで減少する見込み



学級数推移

※多度地区は除く	R7年度	R15年度	R35年度	R45年度
『一学年2～3学級』以上の小学校	11/23校	8/23校	5/23校	2/23校
『一学年4学級以上』の中学校	4/8校	1/8校	0/8校	0/8校

R45年の児童・生徒数は約5割減少！
全学年でクラス替えができる
小学校は2校に！

2. 市立小・中学校の現状と課題



児童・生徒数の推移

○ 各地区別 小学校1年生と0歳児実数との比較 (令和7年4月現在)

	日進小	精義小	立教小	城東小	益世小	修徳小	大成小	桑部小	在良小	七和小
R7年度小1	29	25	19	9	64	40	77	36	52	54
R13年度小1	43	25	9	11	56	44	61	18	51	37

	久米小	深谷小	城南小	大和小	大山田東小	大山田北小	大山田西小	大山田南小	藤が丘小	星見ヶ丘小
R7年度小1	45	15	52	14	121	50	16	45	45	45
R13年度小1	28	9	57	15	44	33	6	16	40	25

	多度東小	多度中小	多度北小	多度青葉小	長島北部小学校	長島中部小	伊曾島小	合計
R7年度小1	8	48	5	9	18	50	13	1004
R13年度小1	1	34	7	7	9	31	14	731

**全体で
270人強
減少**

2. 市立小・中学校の現状と課題



本物力こそ桑名力

児童・生徒数の推移

○ 各小学校区別 児童数比較

	日進小	精義小	立教小	城東小	益世小	修徳小	大成小	桑部小	在良小	七和小
R7年4月1日	218	168	123	55	383	286	489	207	371	298
R45年度推計	144	92	61	35	189	143	262	104	177	159
	久米小	深谷小	城南小	大和小	大山田東小	大山田北小	大山田西小	大山田南小	藤が丘小	星見ヶ丘小
R7年4月1日	245	111	375	110	778	477	95	315	327	254
R45年度推計	137	68	205	62	334	207	54	111	202	159
	多度東小	多度中小	多度北小	多度青葉小	長島北部小学校	長島中部小	伊曽島小	合計	全体で 約半数に 減少	
R7年4月1日	42	313	66	64	109	340	143	6762		
R45年度推計	24	184	36	36	51	181	82	3499		

2. 市立小・中学校の現状と課題

学校施設の老朽化の状況

○ 市内小中学校の築年数（各学校の最も古い校舎の築年数）

令和7年4月時点

小学校				中学校			
学校名	築年数	学校名	築年数	学校名	築年数	学校名	築年数
日進	62	桑部	50	大山田西	40	成徳	59
精義	63	在良	54	大山田南	34	明正	61
立教	57	七和	53	藤が丘	30	光風	50
城東	36	久米	53	星見ヶ丘	24	陽和	38
益世	58	深谷	54	長島北部	47	正和	50
修徳	56	城南	63	長島中部	55	陵成	43
大成	61	大山田東	46	伊曾島	46	光陵	36
大和	54	大山田北	43			長島	39

法定耐用年数47年を経過した学校施設が全31校中19校！

2. 市立小・中学校の現状と課題

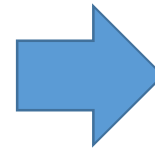


本物力こそ桑名力

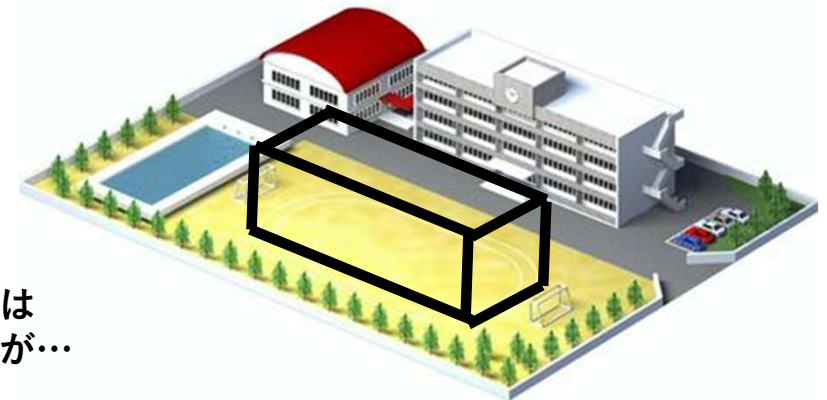
学校施設の老朽化の状況

各小・中学校地内での建替えの可能性

【条件】新校舎開校までは既存校舎で授業を行う



既存敷地内への
新校舎の建替えは
物理上は可能だが…



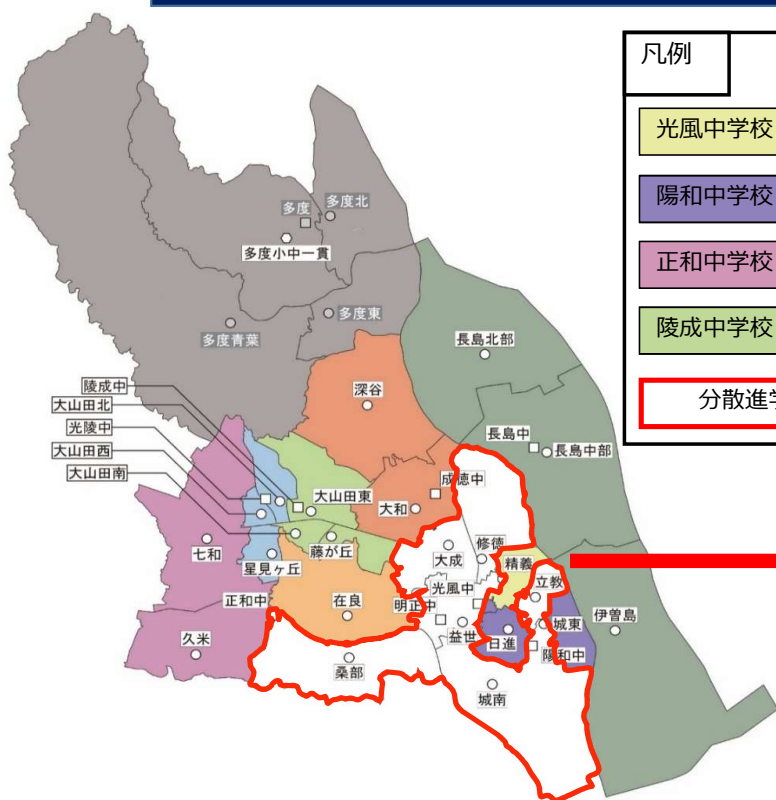
工事期間中運動場の使用ができない
工事期間中の騒音・振動
工事車両等の出入り

など教育活動・児童生徒の安全面で支障をきたす恐れ

同一敷地内での建替えは不可能

2. 市立小・中学校の現状と課題

桑名市全体の分散進学の実状



凡例	
光風中学校	明正中学校
陽和中学校	成徳中学校
正和中学校	長島中学校
陵成中学校	光陵中学校
分散進学発生の小学校区	

【分散進学している小学校区】

立教小学校⇒光風中学校と陽和中学校
 益世小学校⇒光風中学校と明正中学校
 修徳小学校⇒成徳中学校と光風中学校
 大成小学校⇒成徳中学校と光風中学校
 桑部小学校⇒明正中学校と正和中学校
 城南小学校⇒陽和中学校と明正中学校

6の小学校区で分散進学

その他17の小学校区は集中進学

※多度地区を除く

分散進学対象者数（令和6年6月1日時点での各小学校の1年生～6年生の児童数）及び対象校

(R6.6.1 現在)
(単位：人)

分散進学 小学校区	陽和	光風	明正	成徳	正和	その他	合計
立教小学校	84	47				1	132
益世小学校		71	314			1	386
修徳小学校		251		54			305
大成小学校		282		224		3	509
桑部小学校			152		63		215
城南小学校	317		56			1	374
合計	401	651	522	278	63	6	1,921

分散進学

小学6年生の児童が中学校進学時、1つの小学校から複数の中学校へ分かれて進学すること

集中進学

小学6年生の児童が中学校進学時、1つの小学校から1つの中学校へ進学すること

2. 市立小・中学校の現状と課題

桑名市全体の分散進学の実状

■ 小中一貫教育のブロック分け

ブロック名	中学校	小学校
成徳ブロック	成徳中学校	大成小学校・深谷小学校・大和小学校
明正ブロック	明正中学校	益世小学校・桑部小学校・在良小学校
光風ブロック	光風中学校	精義小学校・立教小学校・修徳小学校
陽和ブロック	陽和中学校	日進小学校・城東小学校・城南小学校
正和ブロック	正和中学校	七和小学校・久米小学校
陵成ブロック	陵成中学校	大山田東小学校・大山田南小学校・藤が丘小学校
光陵ブロック	光陵中学校	大山田北小学校・大山田西小学校・星見ヶ丘小学校
長島ブロック	長島中学校	長島北部小学校・長島中部小学校・伊曾島小学校



【小中一貫教育と進学先が異なる児童】

- ・ 光風中学校に進学する大成小学校の児童
- ・ 光風中学校に進学する益世小学校の児童
- ・ 正和中学校に進学する桑部小学校の児童
- ・ 陽和中学校に進学する立教小学校の児童
- ・ 成徳中学校に進学する修徳小学校の児童
- ・ 明正中学校に進学する城南小学校の児童

「桑名市小中一貫教育基本方針」より、全中学校ブロックでの小中一貫教育が導入されていますが、分散進学している児童の一部では、進学する中学校とは異なる中学校で小中一貫教育を受ける場合があります。その場合には進学する中学校への体験・交流活動等について配慮・調整を行っているものの、児童は小学校での集団を分割することによる心的不安を抱えていると思われる。

2. 市立小・中学校の現状と課題



本物力こそ桑名力

アンケート結果から見る 望ましい教育環境とは

(令和4年度 小中学校に関するアンケート調査結果より)

【望む小学校1学年あたりの学級数】

単位：％

回答者	複式学級	1学年1学級	1学年2学級 (国が定める標準規模)	1学年3学級 (国が定める標準規模)	1学年4学級以上	無回答 わからない／
市民	1.8	3.9	35.4	42.8	6.9	9.3
小学生	—	11.8	68.5		13.8	5.9
小学生保護者	0.5	4.0	31.8	47.8	9.0	6.9
教職員	0.0	0.8	53.9	38.9	1.9	4.5

【望む中学校1学年あたりの学級数】

単位：％

回答者	複式学級	1学年1学級	1学年2学級～3学級	1学年4学級～6学級 (国が定める標準規模)	1学年7学級以上	無回答 わからない／
市民	0.8	1.1	23.6	65.1	0.8	8.4
中学生	—	1.1	35.7	56.4	1.5	5.3
中学生保護者	0.4	0.4	19.9	69.4	1.5	8.5
教職員	0.0	0.4	21.7	70.7	0.8	6.4

2. 市立小・中学校の現状と課題

アンケート結果から見る 望ましい教育環境とは

(令和4年度 小中学校に関するアンケート調査結果より)

【小・中学校教育の中で子どもたちをどのような人に育てていくことが大切・重要だと考えますか】 単位：%

区分	公共心（社会一般の利益を大切にしようとする心）や社会常識、マナーを身につけた人	人の話に耳を傾け、人の気持ちが理解できる人	自立心、忍耐力を身につけた人	コミュニケーション力を身につけ、良好な人間関係をつくり出せる人	郷土愛やボランティア精神を身に付け、地域や社会のために貢献する人	国際化・情報化社会に対応できる人	自分のよさを発揮して活躍する人	その他	無回答
市民	25.0	22.4	7.0	27.6	1.3	2.9	10.8	2.0	1.0
小学生保護者	14.8	33.9	4.9	28.6	0.6	1.9	12.8	0.9	1.7
中学生保護者	16.4	25.8	9.8	29.9	1.2	1.5	12.0	1.2	2.3
教職員	11.1	36.0	5.9	26.9	0.4	0.7	16.8	2.2	0.0

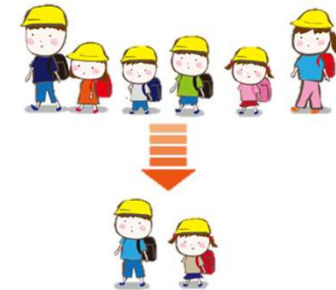
2. 市立小・中学校の現状と課題



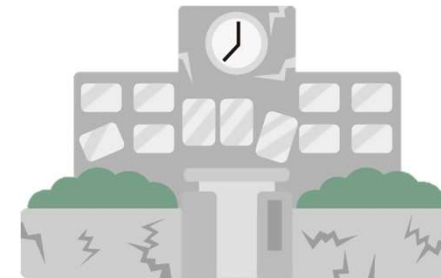
本物力こそ桑名力

課 題

児童・生徒数の減少
(学校の小規模化)



学校施設の老朽化



分散進学





本物力こそ桑名力

3. 学校再編の必要性

児童・生徒数

単学級や複式学級の増加

学校配置を現状のままですと将来クラス替えが出来ない学校が増加。『多様性や協調性を育む』という教育環境の維持が困難となる可能性がある。



改善後

一定の集団規模を確保し、多様な価値観に触れることで、同世代と沢山の経験をすることができる。

分散進学

小中一貫教育の推進

取組を推進する上で中学校区間の調整が必要。小学校での集団を分割した形での少人数進学による心的不安。



改善後

小学校の友だちと同じ中学校で集団生活を送ることができる。

施設老朽化

快適な教育環境の維持

現状のままでは児童生徒の安心安全の確保や時代に合った教育の変化に対応することが困難となる可能性がある。



改善後



充実した機能的な施設環境を整え、快適で十分な安全性・防災性・防犯性をもった施設で安心して教育を受けることができる。

分散進学

小中学校と地域や家庭の連携

地域行事や学校行事の際、相互の予定の調整が集中進学校の地域と比較して複雑である。

学校と地域、家庭がより連携し、教育環境・地域交流の場を設けることができる。



改善後





3. 学校再編の必要性

アンケート結果から見る 望ましい教育環境とは

(令和4年度 小中学校に関するアンケート調査結果より)

【子どもたちが学びやすい学校規模にするために望ましいことについて】 単位：%

回答者	複式学級になったり、児童・生徒数が極端に少なくなったりしていくとしても、現行の学校配置を維持するべき	現行の学校の配置が望ましいが、子どもたちのことを考えると学校の再編を進めることは、やむを得ない	早急に市全体を対象とした計画を立てて、積極的に学校再編を進めるべき	その他	無回答
市民	18.0	60.3	17.6	2.8	1.4
小学生保護者	18.5	63.4	13.0	1.9	3.2
中学生保護者	15.8	69.5	9.9	1.5	3.3
教職員	21.6	64.4	10.9	3.1	—

4. 再編計画の基本方針



本物力こそ桑名力

最重要

子どもたちにとってより良い教育環境を実現すること

【望ましい学校規模】

- 将来的に児童生徒数が減少することも見据え、望ましい学校規模を長期的に維持する。

【分散進学ของ解消】

- 児童生徒の不安や負担が解消し、さらに学校と地域・各家庭の連携をしやすいとする。

【施設形態】 施設一体型小中一貫校

- 児童生徒の交流、教職員の連携ができ施設を効果的に共有することができる。

【校種】 義務教育学校

- 義務教育の9年間を一貫して行うことができる。

4. 学校再編の基本方針

そもそも

望ましい学校規模とは？

学級数

令和4年実施『市民桑名市立小中学校に関するアンケート調査』結果より

小学校…「1学年あたり2～3学級」
中学校…「1学年あたり4～6学級」

義務教育学校の学級数は

『18学級以上、27学級以下』が標準とされている。

[＜参照元＞学校教育法施行規則第41条、第79条、第79条の3](#)

1学級あたりの児童・生徒数

1学級あたり

小学校 35人 ・ 中学校 40人

[＜参照元＞公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数等に関する参考資料（文部科学省）](#)

令和45年時点において
1校あたり学級数18～27学級、児童生徒数600人～1,000人程度を維持できる
学校規模であることを基本とします。

4. 学校再編の基本方針

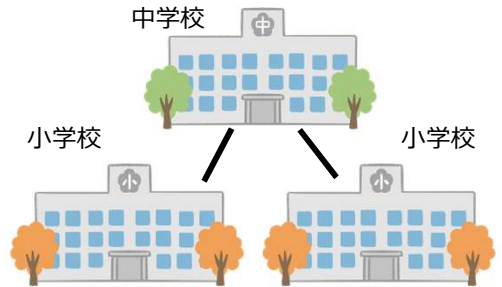
そもそも



本物力こそ桑名力

施設一体型小中一貫校とは？

「小中一貫校」の施設形態は以下の3種類。

施設形態	施設一体型	施設隣接型	施設分離型
特徴	小学校と中学校が同じ校舎・同じ敷地内に設置されている。 	小学校と中学校あるいは一部施設が隣接した敷地に設置されている。 	小学校と中学校が離れた敷地に設置されている。 
利点	常に児童生徒の交流ができるだけでなく、教職員の日常的な連携や協力体制も構築できる。	教職員や児童・生徒の行き来が短時間でできるため、児童・生徒の交流や小中学校の教職員の乗り入れ授業が容易になる。	- 教職員や児童生徒の行き来に時間がかかるが、小中一貫教育の実施が可能である。 - 既存施設のまま実施ができる。

小中一貫教育をより効果的に展開していくため、施設一体型小中一貫校への再編を基本とします。

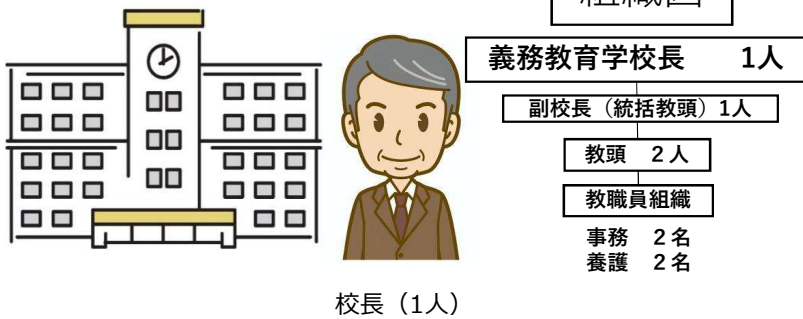
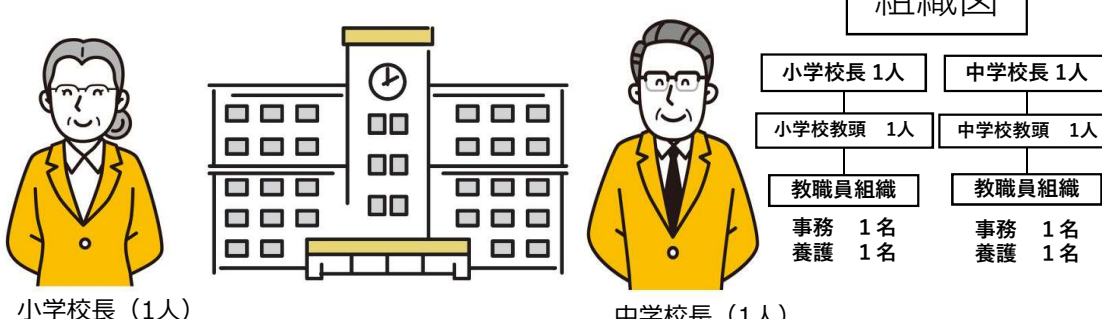
4. 学校再編の基本方針

そもそも

義務教育学校とは？

「**義務教育学校**」とは、前期課程6年＋後期課程3年の計9年間を修業期間とし、1つの学校に1人の校長・1つの教職員組織で構成される学校。

<施設一体型>

校種	義務教育学校	小中一貫型小学校・中学校
修業年限	9年（前期課程6年＋後期課程3年）	小学校6年、中学校3年
組織・運営	・ 1人の校長、1つの教職員組織 組織図  校長（1人）	・ 小学校長1人、中学校長1人 2つの教職員組織（小学校・中学校それぞれ） 組織図  小学校長（1人） 中学校長（1人）

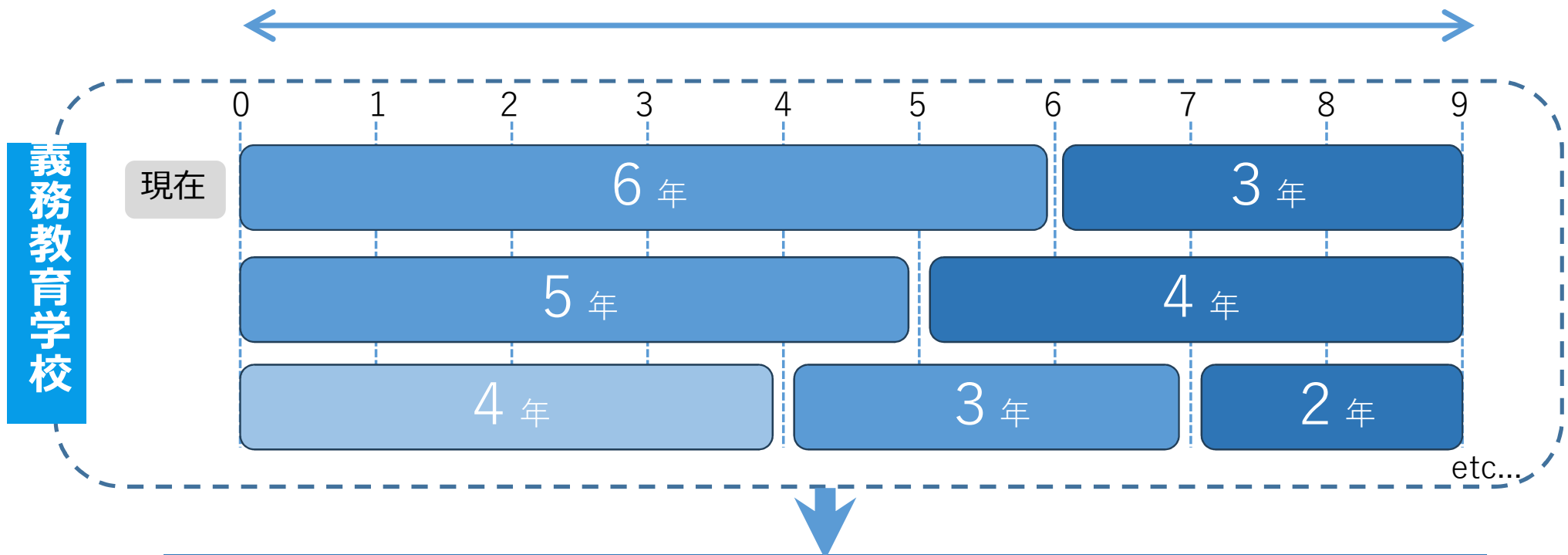
校種は一人の校長の下、小学校と中学校の組織が一体化され、義務教育9年間の子どもの育ちを見通した学校目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施することが可能となる**義務教育学校**とします。

4. 学校再編の基本方針



本物力こそ桑名力

義務教育9年間の学年制について



子どもの成長に合わせた

自由なまとまりで考えることが可能に。

5. 計画策定にあたり配慮すべき事項



本物力こそ桑名力



1 通学方法及び安全性の確保



2 地域コミュニティへの配慮

3 長期的な再編計画の遂行



4 学校跡地の利活用



6. 新しい学校配置案



本物力こそ桑名力

新しい学校配置案検討フロー

1

施設一体型小中一貫校
設置候補地の検討

2

望ましい学校区割の検討
(小中一貫校区割)



3

小中一貫校の設置候補地・設置数・新学校区割（案）

6. 新しい学校配置案

6-1 設置候補地の検討

(1) 新しい場所での学校整備候補地を検討

1) 必要校地面積の設定

2) 整備候補地の抽出

3) 整備候補地の評価

(2) 既存学校地での検討

1) 適切な教育環境の確保

2) -1 工事期間中の安全性
2) -2 グラウンドの確保

3) 既存中学校校地拡張の可能性

最適な整備候補地を抽出

6. 新しい学校配置案



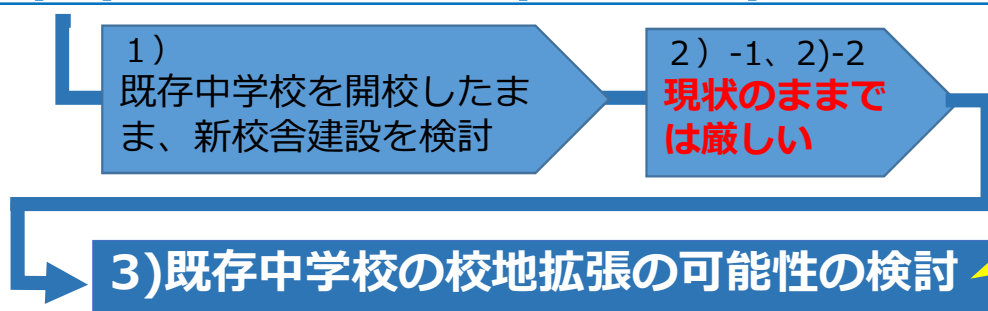
本物力こそ桑名力

6-1 設置候補地の検討

(1) 新しい場所での学校整備候補地を検討



(2) 既存の学校地（中学校地）での検討



中学校名	隣接地の現状	拡張の可能性
成徳中学校	農地（農用地区域）	▲
明正中学校	住宅地/事業用地	×
光風中学校	市役所等市所有地	○
陽和中学校	農地（一部農用地区域）	▲
正和中学校	農地	△
陵成中学校	大山田東小/大山田第四公園	○
光陵中学校	大山田北小	○
長島中学校	長島中部小	○

校地の拡張が可能な

成徳、光風、陽和、正和、陵成、光陵、長島の7つの中学校地を施設一体型小中一貫校の候補地と選定

6. 新しい学校配置案



本物力こそ桑名力

6-2 望ましい学校区割（小中一貫校区割）検討フロー

①基本条件の設定

- ◆多度地区・長島地区は単独で再編する
- ◆小学校区は分けない
- ◆7つの中学校区から学校区割を考える

②再編先の選定（第1段階）

- ◆現在の進学先以外の中学校区への振り分けは行わない
- ◆分散進学対象校はどちらか1校にまとめる

③再編先の選定（第2段階）

- ◆第1段階の結果、R45における児童生徒数が600人未満の中学校区は統合対象とする
- ◆進学先が統合対象となった小学校区の児童生徒は距離の近い中学校区へ統合する
- ◆分散進学対象校は進学先が統合対象となっていない場合はその中学校区に統合する

④再編パターン評価

- ◆令和45年時の望ましい規模の学校数
- ◆児童・生徒数の平準化
- ◆通学先が変更となる児童・生徒数
- ◆徒歩通学が困難な児童・生徒数
- ◆施設一体型小中一貫校の整備過程

⑤再編パターン実現性の検証

- ◆施設一体型小中一貫校の整備が可能な学校区で構成されるパターンのみを抽出する

⑥新学校区割（原案）

- ◆既存コミュニティへの配慮

6. 新しい学校配置案



本物力こそ桑名力

6-3 小中一貫校の設置候補地・設置数・新学校区割（原案）

	（仮称）光風小中一貫校	（仮称）陽和小中一貫校	（仮称）正和小中一貫校
学校区割 構 成	精義小 益世小 修徳小 大成小 深谷小 大和小	日進小 立教小 城東小 城南小	桑部小 在良小 七和小 久米小
	（仮称）陵成小中一貫校	（仮称）光陵小中一貫校	（仮称）長島小中一貫校
学校区割 構 成	大山田東小 大山田南小 藤が丘小	大山田北小 大山田西小 星見ヶ丘小	長島北部小 長島中部小 伊曾島小

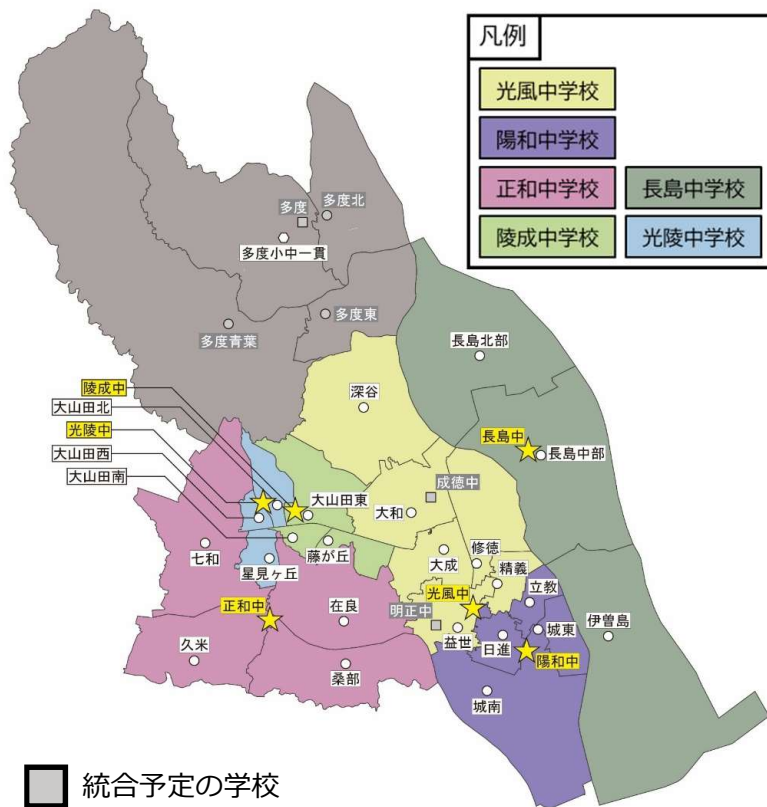
6. 新しい学校配置案



本物力こそ桑名力

6-3 小中一貫校の設置候補地・設置数・新学区区割（原案）

光風・陽和・正和・陵成・光陵・多度・長島



	R13		R25		R45			R13		R25		R45	
光風	精義小	177人	精義小	132人	精義小	92人	陵成	大山田東小	403人	大山田東小	377人	大山田東小	334人
	益世小	356人	益世小	263人	益世小	189人		大山田南小	172人	大山田南小	153人	大山田南小	111人
	修徳小	252人	修徳小	202人	修徳小	143人		藤が丘小	504人	藤が丘小	275人	藤が丘小	202人
	大成小	543人	大成小	366人	大成小	262人		陵成中	642人	陵成中	418人	陵成中	317人
	深谷小	101人	深谷小	93人	深谷小	68人		合計	1,721人	合計	1,223人	合計	964人
	大和小	97人	大和小	95人	大和小	62人							
	光風中	692人	光風中	570人	光風中	396人							
	合計	2,218人	合計	1,721人	合計	1,212人							
陽和	日進小	303人	日進小	206人	日進小	144人	光陵	大山田北小	274人	大山田北小	241人	大山田北小	207人
	立教小	122人	立教小	90人	立教小	61人		大山田西小	89人	大山田西小	76人	大山田西小	54人
	城東小	56人	城東小	54人	城東小	35人		星見ヶ丘小	232人	星見ヶ丘小	226人	星見ヶ丘小	159人
	城南小	328人	城南小	284人	城南小	205人		光陵中	322人	光陵中	288人	光陵中	215人
	陽和中	347人	陽和中	324人	陽和中	223人		合計	917人	合計	831人	合計	635人
	合計	1,156人	合計	958人	合計	668人							
正和	桑部小	155人	桑部小	143人	桑部小	104人	長島	長島北部小	65人	長島北部小	64人	長島北部小	51人
	在良小	298人	在良小	250人	在良小	177人		長島中部小	245人	長島中部小	244人	長島中部小	181人
	七和小	258人	七和小	215人	七和小	159人		伊曽島小	84人	伊曽島小	115人	伊曽島小	82人
	久米小	199人	久米小	189人	久米小	137人		長島中	241人	長島中	224人	長島中	170人
	正和中	565人	正和中	453人	正和中	331人		合計	635人	合計	647人	合計	484人
	合計	1,475人	合計	1,250人	合計	908人							

多度学園

施設一体型小中一貫校（義務教育学校）



**桑名市内初の義務教育学校『多度学園』が
令和8年4月に開校予定**



※イメージ図

多度学園開校までのあゆみ



本物力こそ桑名力

平成28年5月	「桑名市学校教育あり方検討委員会」設置
平成29年4月	同委員会が「望ましい学校教育のあり方について」答申
平成30年4月	「桑名市小中一貫教育基本方針」策定
令和 3年2月	「多度地区小中一貫校整備事業 – 基本構想・基本計画 –」策定
令和 3年7月	「多度地区小中一貫校整備事業開校準備委員会」設置
令和 5年1月	多度地区小中一貫校整備事業事業者本契約
令和 8年4月	桑名市初小中一貫校「桑名市立多度学園」開校予定

多度学園の検討開始から開校まで 約10年..!!